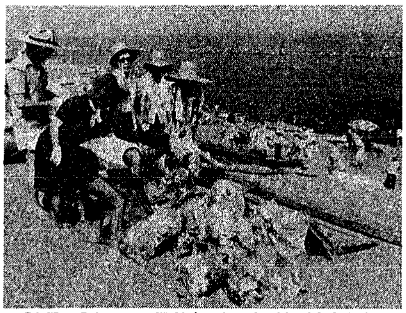
きれいなまちづくり運動、初仕事
盛り上がる海浜クリーン作戦
９月10日にも



「土用のうしの日」汗だくになりながら〝あきかん、あきびん、すいかの食べ残し〟などごみを運ぶ参加者（７月31日関屋浜で）

うだるような暑さの続く「土用のうし」のさる七月三十一日、まちをきれいにするための市民の自主的な組織である「きれいなまちづくり運動実行委員会」の初仕事として関屋・小針浜で海浜清掃が行われました。

両方で千五百人もの多数の人が参加し、八トンものごみが処理され、きれいな砂浜になりました。

さらに七日には、二葉・日和山・窪田町浜でも行われ、市民みんなで〝まちをきれいに〟という運動が広がっています。

参加者は、軍手、ポリ袋持参で集まり、関屋浜では青少年育成協、連合婦人会 ガールスカウト、浜浦校区 午前九時から、老人クラブ、県山のごみ会議など十四団体約五百人。小針浜では午前七時半から、小針中学校区青少年育成協を中心に生徒、父兄約千人が参加して約一時間行われました。

前日は「うしの前夜祭」だったことも手伝って〝あきかん、あきびん、すいかの食べ残し、たき火の跡のこげた材木〟―などが多く散乱し、参加した人たちは汗だくになりながらごみを拾っていました。

市では、四トン積み清掃車二台を用意しましたがすぐ満ぱいになるほどでした。

また、当日は市長も参加し「自分たちの町は自分たちの手できれいにする。という市民の自主的な運動が盛り上がってきたのはたいへんうれしい。今後もこの運動を大切に育て、さらに輪を広げてほしい」と激励し みんなと一諸になって海浜清掃に汗を流していました。

今回、実行委員会でごみの集積所六か所、立て看板八枚を設置しました。

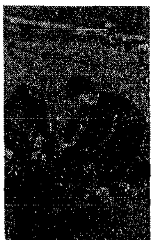
海浜のごみを拾ってもまた捨てれば同じ事です。

ごみは、持ち帰るかごみ集積場に運ぶかして「捨てない、汚さない」ようご協力ください。

今後、実行委員会では九月十日にも海浜清掃を予定し、また道路上のたばこの吸いがら捨いなどクリーン運動も行う予定です。

最後に参加した方々に感想を聞いてみました。

清野欣晃さん（浜浦校区青少年育成協）は「あきかん、すいかの食べ残し、たばこの吸いがらが多い。息の長い仕事なので、繰り返し繰り返しやることによって市民の意識を高め、捨てない、汚さないで持ち帰る運動を広げたい」



藤巻キソさん（連合婦人会）は「国体の頃からまちをきれいにする運動をやっている。今回はガラスの破片やジュースのかんが多かった。一度参加した人はもう捨てなくなるはずだ。だからこの運動にぜひ参加してほしい」

ライオンズ・クも海浜清掃

新潟、会津若松両ライオンズクラブは、去る四日早朝、新潟で交歓会を開いたのを機に「海浜クリーン作戦に協力しよう」―と金衛町浜で清掃を行いました。＝写真＝

風疹
免疫はありますか　抗体価検査を受けよう

市は、今年度の重点施策のひとつとして、市医師会の協力を得て、五月から、風疹の抗体価検査（風疹の免疫があるかどうかをしらべる）を実施しています。希望者は検査を受けるようおすすめします。

対象　これから子どもを持ちたい人。ただし、妊娠している人は除きます。

8・9月の検査日時　▽八月－三十日、西保健所で▽九月－六日、東保健所、二十日、西保健所▽受け付け時間－いずれも午前九時から十時まで

検査料　六百四十円

個人指導　保健所で行った抗体価検査結果と検査個人票を持参の上、もよりの医療機関（主として産婦人科医）で行います。料金は千円。また、予防接種を希望する場合は、三千五百円の経費が必要です。

申し込み　所轄の保健所へ検査日の前日までに電話で申し込んでください。一回当り五十人で締め切ります。

風疹とは……
妊婦がかかると 異常出産も

風疹は軽い子供の伝染病で、俗に「三日ばしか」と呼ばれ、三日ぐらいで全治してしまいます。一般に、春から初夏および秋ぐちに流行します。

軽い伝染病といっても、免疫をもたない妊娠初期の妊婦がかかりますと、白内障、難聴、心疾患などをもつ先天異常児が生まれることが明らかになっています。

しかし①二十歳以上の婦人では約八〇%の人が免疫をもっている②風疹は伝染力の弱い病気で、相当密接な接触がなければ感染しないことなどから、あまり心配はいりません。（風疹の感染は、家族または同一共同生活集団からの感染が主で、単に、近隣に流行があるということだけでは、ほとんど心配ありません）

全戦没者に黙とうを！
あす15日は終戦記念日

あす十五日は終戦記念日、全戦没者に対し、国をあげて追悼の誠を捧げるため、全市民が、同日正午から一分間それぞれの職場または家庭で黙とうをされるようお願いします。

なお、国では、十五日に全国戦没者追悼式を行うことになっていますが、新潟市でも①市の施設に半旗をかかげる②全職員が正午から一分間の黙とうをする③各種工場にサイレンの吹鳴を依頼すると共に各寺院の鐘をならしてもらう―などを行います。

市報 にいがた

発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 高橋甲子
（担当市民企画部広報課）
印刷所 ㈱旭光社

市の人口

		前月比
人口	430,658	(＋427)
男	210,790	(＋259)
女	219,868	(＋168)
世帯数	134,722	(＋66)

52年6月末日現在

グループ紹介
〝青年民謡流し〟に参加しよう
SOS　桑原秀子（蒲原町）

〝SOS〟というと、皆さんは、何を思い浮かべますか？ タスケテー！危機一発……それとも〝ピンク・レディ〟の唄でしょうか。

少し変わった名前の私たちのサークルは、中央公民館が行った青年大学講座の受講生です。

三月で講座は終了しましたが、まだ何かやりたいという気持ちがつよく、六月、新たにスタートを切りました。

これといったはっきりした目的をまだ持っていませんが、とにかく〝行動〟、もちろん考えた上にたった行動を行って、肌で感じたものを栄養にしながら大きくなりたいと願っています。

中原中也の言葉を借りれば――

〝名状しがたい何かが、たえず僕を促進し、目的のない僕ながら希望は胸に高鳴っている〟

というところでしょうか。

〝若い〟ということは、〝未熟〟ということです。完成されてない生き物〝終わり〟がありません。それだけに、定例会（第一・三月曜日、中央公民館）が、ズッコケムードになるときもあるほどです。反省！

最後にCMを……。

〝行動し、考える〟をモットーにしている我らが、〝何か〟を求めて飛び立つとき、その〝何か〟を掴みきれないまでも、必ず、自らを成長させることができると思います。

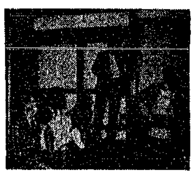
ただ今、メンバーは十八人で、内六人が女性です。

皆、気のいい人ばかりで、おもしろい話には、

この〝新潟まつり〟でも、〝青年民謡流し〟を企画し、多くの青年の参加を心待ちにしています。

踊りに参加した後には、楽しい催しも計画しています。

もし、〝青年民謡流し〟に参加しようとする〝我ら仲間〟がいましたら、八月二十一日、午後六時に、中央公民館五階ホールに集合!!待っています。



楽しく集うSOSの仲間たち

中学校卒業程度認定試験

受験資格　昭和53年３月31日までに満15歳以上になる方で次のどれかに該当する方①現在、義務教育の猶予、もしくは免除を受けている人または以前に受けた人②旧尋常小学校か、旧国民学校への就学義務の猶予または免除を受けた人③義務教育諸学校を卒業できなかった人で、猶予または免除を受けることのできる事由と同等の事由があったと文部大臣が認めた人。

試験日時　11月11日午前10時～午後３時40分

試験科目　中学校の国語、社会、数学、理科、外国語（英語）

願書受け付け　８月16日から９月16日まで県教育庁学校教育課へ。問い合わせもどうぞ（☎23－5511）

沼垂図書館新着図書

書名	著者名
ぼくは魔法学校三年生	佐藤さとる
てのひらのはかせさん	神宮輝夫
古いやねうらべやで	プロコフィエバ.C
私は小さな小説家	クライン.ノーマ
円の兄弟	黒田孝郎
熱のはなし	山県恭造
火とほのお	浜田修一
天気図をよもう	藤井幸雄
鉄道模型	山崎喜陽
ものぐさトミー	デュボア
みつけたぞぼくのにじ	ドン・フリーマン
ぼくぼうしとらないぞ	清水道尾
かばさん	やべみつのり

手話講習会

あなたも手話を覚え、聴覚障害者福祉の向上に協力しませんか。

日時　９月６日～来年２月７日までの毎週火・木曜日　午後６時半～８時半

会場　新潟小学校集会室（予定）

対象　聴覚障害者福祉向上に理解をお持ちの方

内容　手話技術、ろうあ者福祉について

申し込み　８月31日（消印有効）までにはがきに住所、氏名、性別、職業、生年月日、連絡先電話番号を明記し、市障害福祉課「手話講習会係」（西堀通6－866〒951）へ

主催　市、市聴覚障害者福祉協会、市手話サークル

「青少年と社会環境」のポスター、標語募集

未成熟な青少年をよりよい社会環境で育成する大切さを啓もうするのにふさわしいポスター、標語を募集します。ふるってご応募ください。

〈ポスター〉

●**内容**・自由。●**大きさ**　四つ切り画用紙。

●**色**　３色以内。一人何点でもよい。裏に住所、氏名、年齢、電話番号を明記。

〈標語〉

●**内容**　自由。官製はがき１枚１点。一人何点でもよい。住所、氏名、年齢、電話番号を明記。

応募方法　９月３日までに、中央公民館内新潟市青少年補導センター（〒951 西堀通り６）へ